

2021 年度第 1 回教育課程編成委員会議事録
(ホテル科・ブライダル科・観光科・鉄道科・エアライン科・テーマパーク科・デュアル科)

日時	2021 年 9 月 9 日(木)	場所	304 教室、305 教室より Zoom で実施	進行	湊、澤田	記録	柴崎
出席者	企業側(11 名)敬称略・順不同						
	学科	企業名・団体名				名前	
	観光・鉄道	一般社団法人日本旅行業協会 関東支部千葉県地区委員会				藤川 誠二	
	観光・鉄道	千葉都市モノレール株式会社				今関 真治	
	エアライン	株式会社旅行綜研				石井 光彦	
	エアライン	株式会社ジャッツ 成田空港事務所				鈴木 繁	
	エアライン	一般財団法人成田国際空港振興協会				磯邊 真紀江	
	エアライン	株式会社エコーパートナーズ				山田 将人	
	テーマパーク	イオンモールキッズドリーム合同会社				伊藤 弘美	
	ホテル・ブライダル	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会				飛田 和子	
	ホテル	ホテルニューオータニ幕張				風間 昭彦	
	ホテル・ブライダル	株式会社オータパブリケーションズ				山下 裕乃	
	ホテル	シティパークアンドサービス株式会社				加藤 哲也	
学校側(12 名) 矢口、竹ノ谷、湊、澤田、小園、立石、中山、松本、栗原、石神、茂野、塚本							
議事録	<p>【全体会】 司会進行:湊、澤田 今回の教育課程編成委員会は、ホテル科・ブライダル科・観光科・鉄道科・エアライン科・テーマパーク科・デュアル科で開催。</p> <p>1. 校長挨拶 観光業界も学校もオンラインが当たり前になってきている。今後もオンラインやバーチャルを組み合わせた取り組みが進んでいくが、観光業界においても学校運営においても、対面は欠かせないサービスであり、周りの方々も本学の学生も求めている。これらの活用方法を合わせたやり方等を含めて、皆様の現実を共有したうえで、授業や行事運営のやり方も含め意見交換させていただきたい。</p> <p>2. 新任委員紹介 一般社団法人日本旅行業協会 関東支部千葉県地区委員会 藤川 誠二様 千葉都市モノレール株式会社 今関 真治様 一般財団法人成田国際空港振興協会 磯邊 真紀江様</p> <p>3. 業界・企業の最新情報(TOKYO2020 を終えて) 石井氏(エアライン) ・人の動きが止まっており、国内需要をどう掘り起こしていくか課題。 ・オリパラでは 22 の案件に携わることができ、本社の添乗員や一般から募集したスタッフが参加した。 ・本業の添乗員の派遣や空港旅客の業務が動いていないが、ワクチン接種会場へ社員を派遣している。</p>						

鈴木氏(エアライン)

- ・空港内の業務よりもオリパラの支援やワクチン接種会場でのヘルプ業務が中心。

磯邊氏(エアライン)

- ・オリパラ後の空港は閑散としており、スタッフのモチベーションをこれからも維持するために、中国語や韓国語の勉強、クレーム対応などスキルアップとなる取り組みをしている。

山田氏(エアライン)

- ・オリパラ期間は、コロナ禍における業務量と比較すると1.2倍程度であった。
- ・閉会式後は選手村で直接チェックインをし、そのまま荷物を空港へ運び飛行機に積むよう対応があった。弊社が担った業務としては4名×10時間×2日間という業務量であった。さらにアメリカのバスケットボールチームのチャーター機の対応も別途行った。
- ・全体の国際線業務量としては、2020年と比較すると上昇傾向にあるが、2019年と比較すると約50%以下となっている。
- ・国内線を中心に復調傾向にあり、昨年には出来なかった採用活動も再開でき、少しずつ兆しが見えてきている。

飛田氏(ホテル・ブライダル)

- ・オリパラ期間中はホテルごとに対応や導線などに違いがあった。
- ・会食業務は毎週のようにキャンセルが相次いでいる。
- ・ワクチンがいきわたり、安心して会食ができるような状況になることを望んでいる。

風間氏(ホテル)

- ・オリパラは組織委員会や協会団体の宿泊があったので、2019年並みの収入があった。各国からのお客様がお越しになり、コロナ対策における外国人の方の規制が難しく感じることもあったが、無事にオリパラを終えることが出来た。お盆の期間は天候に恵まれない日が多く苦戦が多かった。
- ・雇用調整助成金を上手く活用し、今できることをしっかりやる。
- ・今後は人材育成やより多くのチャンスを与え、今できることを模索しながら日々の業務を取り組んでいく。さらにブライダル事業においても一つ一つの婚礼で何をするかということに注力していく。

山下氏(ホテル・ブライダル)

- ・週刊ホテル・レストランの購読部数は減少しており、人材紹介の手数料も少なくなっている現状。
- ・今後はホテルや旅館と連携してB to Cにおける販売サイトの強化をしていく。さらに通販業界における課題をお客様の声を聞きながら改善していく。
- ・旅行会社においては、新たな企画をホテルと協力して作っていく。

加藤氏(ホテル)

- ・オリパラに関しては、当初の予定に相当する台数には及ばなかったが、オリパラ特需ということで売上げを上げることが出来た。
- ・コロナに関しては、早い段階から社会貢献度が高い活動を始めた。軽症者を病院や専門施設に搬送する請負業務から始まった。一番影響を受けたバスの運転手が担当し、リカバリーすることが出来た。
- ・ホテルの業務においては、ドアマンを専門職としているため、稼働率が低い時でも仕事の量が減ることはなかった。

伊藤氏(テーマパーク)

- ・オリパラの期間は幕張メッセの交通規制があったため、お客様へのご案内が発生していた。
- ・9月の平日はほとんどが学校団体からの予約であるが、緊急事態宣言が延長されるということで、お子様の感染を心配されてキャンセルが多く発生している。
- ・ワクチンの普及やお子様への接種が進む中で、安心・安全にお客様を迎えるための準備を進めていく。

今関氏(観光・鉄道)

- ・2020年のオリパラ前は、インバウンドに力を入れようということで、案内表示や放送を多言語化し、チラシ作

- 成などで外国のお客様向けに力を入れてきたが、延期になったことで見込んでいた計画とずれてしまった。
- ・コロナ終息を見据えて、地域限定の旅行事業を沿線の企業やホテル、施設と連携して作っていく。

藤川氏(観光・鉄道)

- ・オリパラについては、実施されたことは大変喜ばしかったが、無観客ということで業界全体としては、想定していた成果が得られなかった。
- ・コロナ終息に向けての動きやマーケットの動きが予測通りに動いていない。
- ・修学旅行の直前の延期やキャンセルが繰り返り起きており、キャンセル料の発生について、学校からの理解が難しく、通常期よりも仕事量が増えている。
- ・収益に関しては、ワクチン接種の支援事業やコールセンター業務などから得ている状況。旅行業としてもオンラインツアーやVRの修学旅行などを提案し、お客様に価値を提供している。
- ・業界の仕事は、実体がない夢や楽しさを生業としている。「こういう時だからこそ、出来ること」という思想を持って日々お客様と接していく。

【分科会】観光科、鉄道科

進行：立石が分科会を開会。

《2021年度新規導入科目カリキュラム》

立石

- ・Web筆記対策 就職の際のSPI試験対策及び基礎学力向上を目的に導入。
小学生・中学生までの5科目と高校生3科目を自分のレベルに合わせて学習可能なWeb教材を利用した科目。基礎学力がバラバラで入学してくる学生毎にシステムが弱点等を自動で確認し、レベルに合わせて授業を行える。
- ・鉄道接客演習 鉄道業における接客(窓口対応、切符販売)の総合演習。
2年前半まで時刻表実務という授業があったが、今まで座学で紙面上の問題を各自で解く形式だったが、その知識を用いて実際にお客様がいらっしゃる状況を想定して、時刻表を用いて演習を行う。
また、企業実習が出来ない代わりに切符の受付であったり、千葉駅などの構内をイメージしての接客案内等を行う。

《22年度への追加》

立石

- ・手話講座Ⅰ&Ⅱ 観光科は今まで2年後期のみでの設定であったが、半期のみだと内容が限定されてしまい思ったような学習効果が得られなかったため。

今関氏

- ・良い取り組みだと思う。

藤川氏

- ・手話はなぜ半期から1年通しにしたのか。

立石

- ・学生側から半期だと習熟度が低く、もっと学びたいとの意見が多く上がった。
学生側の意欲をくみ取り、1年間通期にすることが妥当と判断した。

《2022年度以降の展開に関する案》

立石

観光科について

- ・観光、レジャー要素の学習(キャンプ、グランピング、ダイビング、IR、スポーツレジャー等)
細かい科目設定ではなく統括して1科目のようなイメージ。県内でも経験できるものは日帰り、特殊なものは研修旅行などと合わせて実施したい。
- ・地域学習(地元の観光要素を発見する)
旅程管理研修後に地元エリアの観光ガイドを実践、出来れば千葉市観光局に審査していただき、合格者には合格証を出せるとベスト。実際のガイドを学生達に実施させることができると良い。
- ・情報発信ツールおよび発信方法の学習・実践
SNSを通じた情報発信を実践、自分達の意図を相手に伝えることを学ぶ。学校としてのアカウントを用意し、来校する高校生向けや地域・企業との連携を行えるようにしていきたい。
- ・今までのカリキュラムは資格取得を重きにカリキュラム作成をしてきたが、学生の食いつきはそれほど良くない

く、入学者数も減少している。新たな形を考え、上記内容を新たなカリキュラムとして考えている。ぜひ、意見をお伺いしたい。

藤川氏

- ・企業としても、今までの発型の旅行から着地型旅行へ変化している。地元との連携などを強め、お客様を呼び込む努力をしている。学校が向かう道は正しいと思う。旅行＝楽しいを学生には感じてほしい。そういう面からも今までの考え方ではなく、新たな道を進むべき。

立石

鉄道科について

- ・実習室の拡充、及び企業連携の強化

鉄道実習室に置いてあるモックアップを利用しての授業を行っているが、運転体験は可能だがそれ以外(車掌業務・窓口接客業務)は他校と比べて弱いと感じるため、設備を揃えるのと同時に、カリキュラムも変更していきたい。

今関氏

- ・採用という面から見ると、業務的な事は会社に入ってからで十分間に合う。一番大切なのは人間としての基礎の部分が重要。自分から発信する力を学生のうちに身に付けてほしい。

立石

- ・過去に現場実習で御社にお世話になっていた。今後、インターン等でお世話になることはできないだろうか。

今関氏

- ・短い期間であれば実現できるかもしれない。

《就職について》

富澤

- ・2年生(2022卒)現状報告

- ・観光科内定先

阪急トラベルサポート、ツアーリストエキスパーツ、ニッポンレンタカー、東海旅客鉄道、東武ステーションサービス、紀伊乃国屋、箱根山の茶屋

- ・鉄道科内定先

新京成電鉄、JR東日本ステーションサービス、都営交通協力会、新北斗警備保障、サンコー・エア・セルテック

- ・昨年より求人件数及び求人数減少傾向。

飲食店・宿泊業や運輸業などの採用需要の減少プラス企業側と学生のミスマッチにより内定への道が遠くなっている。

今関氏

- ・鉄道業界もただお客様を運ぶだけではなくなっている。乗車して頂き、駅や駅周辺でお金を使っていた。鉄道という狭い視野だけでなく、観光業界の中に鉄道があるという大きな視野で見たい。今年観光科の学生が鉄道業界に内定しているのは企業側としてそういう観点があるのかもしれない。

藤川氏

- ・結局はその人の人間力だと思う。今年の学生はたまたま観光科にそういう学生が集まった結果内定が多かったのかもしれない。弊社の採用は21年度はできたが、22年度は出来なかった。23年は未定である。

進行:立石が分科会を閉会した。

【分科会】テーマパーク科

進行:石神が分科会を開会。

《コロナ感染2度目の夏を終えて》

石神

- ・コロナ二度目の夏としての取り組みはあるか

伊藤氏

- ・数値としては減少傾向。校外学習等の団体も軒並みキャンセルになった。

- ・小学校低学年が主な客層だったが客層が変わってきたためスポンサー様にお越しいただき講演の機会をつくるなど、柔軟な対応をすることが多くなった。

石神

・コロナ禍でなければこのような取り組みはなかったか。

伊藤氏

・お子様が体験する時間を有効活用できるように取り組みを始めたため、コロナ禍でなければやらなかったと思う。

石神

・従業員の動き方や接し方も柔軟になったか。

伊藤氏

・確かに今までよりも柔軟な対応が求められることが増えた。

《学内・学生の状況》

石神

・就職状況等は厳しい時期が続いている。

伊藤氏

・アルバイトとして働いている学生 2 名は良く働いてくれている。

《2022 年度新入生用のカリキュラム》

石神

・『テーマパークオペレーション』2 年間で 60 時間 ⇒ 105 時間。1 年次 カンドゥー研修含む。
・『テーマパークマネジメント』『エンターテイメント入門』『サービス接客検定』新規導入。
・既存のカリキュラムの時間数を増やしオペレーションする側でもマネジメントする側でも就職時に選択肢を増やせるよう、時代に合わせたカリキュラム作りをしたが、そこに関してどう思うか。

伊藤氏

・個人的には良いと思う。学生が学びたいのはマネジメントではないと思うが学んだほうが良い。

竹ノ谷

・表面だけでなく裏側の仕事を現場で感じられるような研修などはどうか。

伊藤氏

・良い考えだと思う。裏側を知る事で深く知ってもらえることも多くあると思う。

竹ノ谷

・裏側の業務を見せる事が出来るのもコロナ禍だからこそということもあると思う。

伊藤氏

・学生に響くか不安もあるが、ぜひ前向きに検討したい。
・学校として研修などが無くなった話を聞き、一つの案としてカンドゥーのブースをテーマパーク科に貸出しして仕事を教えるという事ができれば、企画立案にもふれられると思うがどうか。

竹ノ谷

・是非できればと思うが学生のレベルによって出来が変わる為、学科ではなく学校として動き、観光が学べるという大きなくくりで考えるのが良いのではないかと思う。その中心としてテーマパーク科が運営するでももちろん良いと思う。

石神

・良い話だと思う。前向きに検討したい。

進行:石神が分科会を閉会した。

【分科会】エアライン科

進行:湊が分科会を開会。

《2022 年度入学生カリキュラムについて》

湊

・カーゴコースのカリキュラムを新しくする。企業連携でグラハン授業をもう一科目増やしたい。

葉原

・機材に特化した授業を行いたい。授業でのフォークリフト講座+外部での講習で、フォークリフト資格取得を目指す。
・現在行っている貿易実務の授業をロジ検定に変更。ロジ検定は倉庫の運営や梱包に関する検定で、貨物取扱い業務に必要な内容となっている。

山田氏

- ・現時点で貨物業務領域の業務は行っていないので協力できることが限られることとなり申し訳ない。ハンドスキャナーでの手荷物取扱い業務でも行っているため調整次第では空港で見学してもらうことは可能。
- ・フォークリフト資格に関して、会社が定めた期間内に退職しないという条件のもと、入社時に会社負担で資格を取らせている。他社も比較的同じような方法でフォークリフト資格を取らせている。
- ・現在、TT 車に付けるドーリーを探しているところ。TT 車+ドーリーの実習が、空港外の弊社内の敷地で行えたら良い。
- ・無線機を使用して実際の貨物の流れを疑似体験するような内容であれば、場所を選ばず可能。現場と無線を繋げて生のオペレーションを見てもらうのはどうか。
- ・貨物分野に特化した社員がいるので相談に乗らせてもらう。

湊

- ・現在行っているサービス介助士と手話の授業をユニバーサルマナー講座+手話にしたい。ユニバーサルマナー講座は、身体的・精神的障害いや LGBT 等にも触れる内容。

鈴木氏

- ・ユニバーサルマナー講座の内容は課題であると思うがつかみどころがなく、現場で早々に必要とはなっていない。

石井氏

- ・専門学校で色々な資格が取れたら就職に有利だと思う。入社後に資格を取る者もいるが、在学中に資格取得の機会があるのは良い。
- ・LGBT 等、多様性を学生時代に植え付けるのは教育として良いと思う。

磯邊氏

- ・資格は強み。NAA も職員がサービス介助士資格を取得することを奨励している。
- ・業務にあたる際に、資格があればスピード感を持って進めることが出来る。
- ・前もって多様性を認識しておくことで、多国籍のお客様に対して驚くことなくリラックスして要望を聞くことが出来る。

山田氏

- ・LGBT 等の多様性を一般的に根付かせることは大切。以前、貨物部門に LGBT にあたる社員がいたが、貨物部門はターミナル内とは違ってお手洗い等での配慮がすくなく、不便だったという声が聞かれた。
- ・LGB は外見上分からないが、トランスジェンダーは外見からも分かるもので、社会がまだそれに追いついていないと思う。

湊

- ・オンライン留学、オンライン旅行について

石井氏

- ・現地ガイドが実際に歩き、食事は Uber eats で運ぶ。というオンラインツアーがある。
- ・コロナ終息後、オンラインツアーと同じ内容の旅行をしてもらうことが目的。
- ・個人的な意見だが、オンラインツアーがさほど広がっているとは思わない。

鈴木氏

- ・ネットですぐに情報検索出来るし、スルーも出来るのでオンラインツアーが浸透するとは思えない。
- ・日本人中高生が留学に出発する姿が見られるようになった。コロナ後を見据え、留学先の状況をオンラインで発信することで次の営業に繋げている。

《就職状況》

松本

- ・現在のエアライン科内定率 55%
- ・航空業界旅客職の求人がないため、ホテルや貨物業界に就職する学生あり。
- ・今後、エアライン以外の企業開拓も行っていきたい。

【分科会】ホテル科・ブライダル科

進行：澤田が分科会を開会。

1. 2021年度履修科目について

澤田：ホテル科

■英語クラスのレベル分け

学生数が多いが故、英語の能力差問題が以前からあった。

そのため、今年度より「ホテル接客英語」の授業をレベル分けして実施。(3クラス)

一番下のクラスでは、初歩的なことが理解できない学生もおり、どのように指導していくか課題はあるものの、クラス分けしたことでレベルに合った授業内容ができたので良かった。(担当の先生より)

塚本：ブライダル科

■ブライダルセールス I

人の多様性を知り、高齢者・障がい者など幅広く学ぶことができるよう、

ユニバーサルマナーの授業＋検定を実施。

学生からは、知ることができて良かった・積極的に声をかけるなど今後に生かしたいと前向きな意見ばかりだった。

自分自身も検定を取得し、幅広く知識を得られることと、知ることによって自身がどのように対応したら良いのかを考える良いきっかけになるので、今後も継続していきたい。

2. 就職活動状況について

小園：昨年よりは、良いペースで推移している。

ホテルは、舞浜・浦安エリアの採用が無い企業も多く、視野を広げてリゾート・旅館・他業界に切り替えている。

ブライダルは、ゲストハウス・ドレス企業への就職困難。

ホテルへの就職が目立っている。

夜間部については、モチベーションの低さが課題である。

■オンライン選考について

1次面接 Web→2次3次最終面接対面という形が昨年よりも多くなった。

ホテルニューオータニ幕張：すべて対面での対応

シティパークアンドサービス株式会社：すべて対面での対応

このような状況下の中、対面でご対応いただいた。

来年以降、オンライン選考も緩和していくのではと思いつつ、両方併用しての準備・指導をしっかりとしていきたい。

3. 2022年度カリキュラムについて

澤田：ホテル科

英語の他に、「中国語講座」「韓国語講座」15時間＋「中国語事情」「韓国語事情」15時間

授業を取り入れているが、この時間数で習得するには限りがあり、現場での必要性についてお伺いしたい。

風間氏：中国語・韓国語もあっても良いと思うが、もっと英語に特化して集中的に学ばせても良いと思う。

加藤氏：中途半端な習得になるのであれば、無くしてしまっても良いのではないか。

山下氏：正しい日本語、美しい日本語を学ぶ授業や、それを英語で表現する授業などの方が良いと思う。

澤田：行事に関しては、ほとんど実施出来ていない状況。

海外研修も厳しいため、2年生は国内旅行＋東京グローバルゲートウェイ(TGG)での英語体験プログラムに変更予定。

塚本：ブライダル科

ホテル科同様、行事に関して2年生はほぼ実施出来ていない。
日々の授業で知識は得られるものの、学生が今後より視野を広げて、表現・提案力につながるような内容があればお伺いしたい。

山下氏:結婚式を挙げない層が40%いる。

画像や動画(YouTube)を使って集客するための研究をさせると良いと思う。

「インスタグラム」は若い方々にとって身近であり、すごささる。

感性を磨き、楽しみながら学べるのではないかな。

4.夜間部について

澤田:今年度までホテル科・デュアル科・ブライダル科・エアライン科・テーマパーク科とあった夜間部が、2022年度からホテル科・デュアル科のみの編成となる。

乗原:2021年度については、ホテル科に「BC技能検定対策」「ブライダルセールス」の授業を導入。
2022年度も同様、ホテル科ながらブライダルのことも学べるように構築していきたい。

2022年度カリキュラム案

・パソコン授業の拡大・強化

・韓国語/中国語の選択廃止 → 英語に特化

・HRS検定、BC技能検定 → ホテル/ブライダルの検定必修

山下氏:パソコンの授業について、これからはスマートフォン5Gをいかに使いこなせるかがポイントになるため、多様性・効率化など業界の課題を解決させるためのアプリを見つけ出して
仕組みを作り上げていく力が求められる。

今後先駆けてパソコンよりスマホを選択し、気軽に楽しみながら最先端を学べる授業があったら良いのかもしれない。

澤田:料飲に特化したHRS検定は、企業にとってどの程度必要かな。

風間氏:学生のうちに取れる検定はとっておいた方が良い。

HRSは、現場でも生かせるすごく良い内容を学べるので、必要不可欠と考えている。

夜間部の学生も、身体で感じて習得できて良いのではないかな。

5.企業実習について

小園:2020年度の冬の企業実習は、予定通り実施。ほとんどの学生がリゾートでの実習となった。

「Go Toキャンペーン」の影響があってリゾートは活気があった。

2021年度の夏の企業実習は、過去最大人数のアサインとなったが、各企業の受け入れご協力あって、8/31をもって無事に終了した。

進行澤田により閉会。

2021 年度第 2 回教育課程編成委員会議事録
(ホテル科・ブライダル科・観光科・鉄道科・エアライン科・テーマパーク科デュアル科)

日 時	2022 年 3 月 15 日(火)	場 所	エアポート実習室 Zoomにて実施	進 行	湊	記 録	塚本	
出 席 者	企業側(10名)敬称略・順不同							
	学科	企業名・団体名					名前	
	観光・鉄道	一般社団法人日本旅行業協会 関東支部千葉県地区委員会					清水 徹也	
	観光・鉄道	千葉都市モノレール株式会社					今関 真治	
	観光・鉄道	東日観光株式会社船橋支店					酒井 大之	
	エアライン	株式会社旅行綜研					石井 光彦	
	エアライン	株式会社ジャッツ 成田空港事務所					鈴木 繁	
	エアライン	株式会社エコーパートナーズ					山田 将人	
	テーマパーク	イオンモールキッズドリーム合同会社					伊藤 弘美	
	ホテル・ブライダル	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会					飛田 和子	
	ホテル	ホテルニューオータニ幕張					風間 昭彦	
	ホテル	シティパークアンドサービス株式会社					加藤 哲也	
学校側(13名) 矢口、竹ノ谷、湊、澤田、小園、檜崎、立石、中山、松本、栗原、石神、長谷川、塚本								
議 事 録	<p>【全体会】 司会進行:湊 今回の教育課程編成委員会は、ホテル科・ブライダル科・観光科・鉄道科・エアライン科・テーマパーク科・デュアル科で開催。</p> <p>1. 校長挨拶 2021 年度もコロナ禍が続き、ウクライナ情勢もあり、観光業界は厳しい状況にある。 留学生が入国出来ないため、厳しい状況下である。 2 年生は卒業制作・成果発表を実施。 学生の授業満足度・学園生活アンケートは、例年になく良い結果だった。 今後は、「DX とコミュニケーション」を大きなテーマにして進めていきたい。 PC・タブレットを使った授業運営など、ICT も含めて様々なご意見を賜りたい。</p> <p>2. 新任委員紹介 一般社団法人日本旅行業協会 関東支部千葉県地区委員会 清水 徹也様</p> <p>3. 業界・企業の最新情報 今関氏(観光・鉄道) ・公共交通 コロナ前と比べて利用者数は減少している。 ・昨年 10 月以降 京成電鉄×千葉都市モノレールの初コラボツアーを 2 回実施。 沿線ツアーや車両基地ツアーなど、今後も行っていく予定。 ・安全第一に考え、「回生電力貯蔵装置」を設置。 災害時に最寄りの駅まで行く対応ができるようになった。</p>							

酒井氏(観光・鉄道)

- ・1月より「ティールライフパートナーズ」に社名変更。(4社統合)
- ・教育旅行とインバウンドが中心。
インバウンドが入ってこないため、ワクチン接種会場の対応や物販など行っている。
教育旅行は、県内で実施しているところが多い。

石井氏(エアライン)

- ・旅行会社を窓口としたワクチン接種会場やコールセンターへの派遣を行っている。
- ・主たる事業(添乗員の派遣や空港旅客業務)は厳しく、まだコロナの真っ只中にある状況。
違う業種へのアプローチをして運営している。
- ・ウクライナロシア情勢の影響で、ヨーロッパなどへの海外旅行も影響を受けている。

鈴木氏(エアライン)

- ・アウトバウンド ツアーのお客様がいなく閑散としている。
カナダに行く留学生が少し増えてきた。
インバウンド 一般の観光客は少ない状況。
3月から規制緩和したもの、状況はあまり変わっていない。
ドメスティック 週末を中心にお客様が行き交うようになってきている。
- ・第3ターミナルからはジェットスター1社のみのため、他社の便が増えてこない現状厳しい。

山田氏(エアライン)

- ・弊社の業務対応便数推移
国際線 2021年度下期から上昇傾向ではあるが、2019年度と比較して2022年度は50%程度と予想。
国内線 2019年度と比べて2021年度下期 120%の便数
2月以降上昇傾向にあり、賑わいを見せている。
- ・ウクライナ情勢など今後の状況により影響はある。

伊藤氏(テーマパーク)

- ・蔓延防止発令期間中は、かなり影響があった。
団体は中止ではなく、延期しての実施が昨年より増えた。
- ・イオンモール プレスリリース配信
「イマーシブファイヤーファイター」が3/31よりスタート。
ARなどの技術を導入し、消防士の疑似体験ができる。
- ・ITHB コラボ企画「グランドスタッフ体験」 エアライン科学生が中心になり運営。

飛田氏(ホテル・ブライダル)

- ・第6波では婚礼のキャンセルは少なくなってきたが、毎週のように申込みがあるわけではない。
- ・大人数ではなく、少人数婚が多くなってきている。
- ・ハワイでのウェディングが叶わないお客様に対して、
ハワイアンウェディング(アロハシャツ・BGM・装飾・英語対応など)を提案、施行した。
お客様の様々なご要望をお伺いし、柔軟な対応が求められてきている。

加藤氏(ホテル)

- ・コロナ禍の2年間総括として
観光バスとハイヤーは外国人利用が多かったため当初は厳しい状況だったが、
現在は、どちらも順調である。
コロナ禍に対して、早い段階から罹患患者を搬送する請負業務などに切り替えて対応してきた。
地方の旅館との契約、不動産業界に目を向けたりと今までも新しいコンテンツを作ってきたから
こそ、様々な状況に順応することができ、新しいことに挑戦することは慣れている企業であることが
強み、原動力になっている。

風間氏(ホテル)

- ・ホテル業界は、苦戦を強いられている現状が続いている。
- ・2018年のピークに対して7割戻りつつあるが、企業関連・パーティ等苦戦。
- ・婚礼は、以前より回復傾向でキャンセルはなくなってきているが、少人数ビジネスが続いている。
- ・ホテルニューオータニ東京では、3月からホテル初の結婚相談所を開設。お客様からも好評。
- ・進化と新しい取り組みに向けて、方向性を見出し取り組んでいる。
- ・ハイクラスの客室から売れ行きがいい
稼働率は落ちているが、一人単価は以前よりも高い。

清水氏(観光・鉄道)

- ・国内情勢
まん延防止が3連休を目処に解除されたら、県民割をスタートしていく予定。
「Gotoトラベル」GW前後で開始→2022年夏頃 地域版が開始されるのでは。
- ・海外
企画商品は、夏を目処に再開ができればという見通し。
- ・千葉支店は、修学旅行のみ動いている。
行先：沖縄・京都を舞浜などの保護者が迎えに行ける場所に変更し、
中止でなく延期もしくは日帰りで実施をする傾向になってきている。
- ・バスは、平日のみ学生で埋まっているが、社員旅行など企業関連は厳しい。
- ・3月に入り、店頭とオンラインの予約が増えてきている。(近場の旅行・USJなど)

進行湊により閉会。

【分科会】観光科、鉄道科

進行：立石が分科会を開会。

清水氏

千葉県は豊富な観光資源がありながら人が他県に流れている。南房総等、着地型の旅行等を考えていきたいと思っている。

酒井氏

社名が変更になり、仕事のやり方等も大きく変わっている。前進あるのみだと思っている。
御校の学生は年々前向きで優秀な学生が増えている。

今関氏

コロナに負けずの取り組みを会社として実施。組織変更を行い、旧営業課を、運輸管理課、販売促進課に分割することで、営業要素を強くしていきたい狙いがある。

【内容】

1. 2021年度 振り返り

立石

- ・カリキュラム内に入っていた一部行事を除き、予定していた多くの行事及び学校イベントが中止となった。次年度においては4月のオリエンテーション合宿が既に蔓延防止対策で宿泊を中止しており、振替を校内で実施する予定。国内・海外研修旅行なども12月の長崎を除いてキャンセルとなってしまった。
- ・授業について時間割の変更等はなく、オンライン授業は実施せず、対面形式で対策しつつ行う。本年度も従来通りの時間数を確保し、可能な限り対面での授業を実施した。
- ・国家試験について、合格した学生の多くは学校以外の時間に何かしらの対策を行っている者が多く、自主的な勉強を行うことが習慣としてある学生が合格へつながることも分かった。
また、総合管理者については模試の段階では良い成績だったが、本番で躓いた学生が多かった。

2. カリキュラムについて

立石

【観光科・鉄道共通】

- ・1年生後期/2年生前期「就職対策Ⅰ/Ⅱ」を導入

→今までディスカッション・グループワーク練習や面接練習等の時間を個々に設けていたものをまとめて授業内で実施する。併せて、専門分野外の業界研究等も行える就職に合わせた授業とすることで、分野外の就職についてもフォローできるようにしていく。

・1年後期「硬筆・書写検定対策」を導入

→就職活動における履歴書やエントリーシート及び報告書の記入など、文字を丁寧に書くという内容を中心に、人に読んでもらえる文字を習得するよう設定した。検定対策とはしているが資格受験は任意とする。

【観光科】

・1年生後期「観光実務Ⅱ」で企業連携

→産官学連携を打ち出すために、一般社団法人地域未来企画との授業協力で地域学習及び着地型観光の勉強を行う。2年次以降も繋げて授業を行うことで外部への発表に向けて段階を追ってレベルを上げていくようにする。

酒井氏

時代に合わせたカリキュラム作りですばらしい。

今関氏

新規科目については、良い着眼点。採用時に字が汚いというのは良い印象は受けない。

マイナスなイメージが大きくなる。就職対策も専門外の分野に就く学生が増えている現状を踏まえると大切な取り組みだと思う。

清水氏

産官学連携←今の観光業界では一番のトレンド。弊社としても、4/1以降東京でやっていた仕入れを千葉からの仕入れに変更した。カリキュラムの内容を見るとデジタル、IT関連の授業が少ないような気がする。

富澤

具体的にタブレット系か、PC系か？

清水氏

本来タブレットだと思うが、現状はPCが主流である。

3. 2021年度就職状況→就職担当：富澤より報告

富澤

・2021年度 現状報告

観光科 採用活動企業減(大手) 2022年度生は少し回復

鉄道科 採用活動企業減(大手) 採用求人数も減少 2022年度生も更に減少傾向

地元企業は増

立石

各会社の採用について

酒井氏

採用は継続している。4月の新入社員もいる。

今関氏

当社も採用は継続。駅員・運転士は今後も必要。新卒採用だけでなく、30代くらいの年代が少ないので、中途採用もやっている。

4. その他

矢口

デジタル系の授業について、我々教員側も技術習得に苦労している。社員研修等でDX教育等は取り入れているか。

清水氏

昔は社員全員での研修をしていた。現在はイーランニングを取り入れ、個別で受講する形を取り入れている。専門学校でも可能ならイーランニング教材を取り入れると良い。

矢口

学校側として、旅行に行かせてあげたいと思っている。どうしても部屋での過ごし方等が課題。

酒井氏

部屋は4人一部屋を少人数にする、大浴場のみの使用だったものを部屋の風呂も使用可能

にしている、スクール形式で食事をする等、各校取り組みをした上で実施している。

立石

現状の学生を見て、観光・鉄道分野に通用する学生を育てるために今後のカリキュラムに導入すべき内容と、少し抑えても良い科目等があれば教えてほしい。

酒井氏

人前でしゃべる、プレゼン等場数を踏ませてあげることが必要。コミュニケーション能力は必ず必要。

清水氏

ディスカッション、探求学習、コミュニケーション能力向上、この辺は必要である。

進行:立石が分科会を閉会した。

【分科会】エアライン科

進行:湊が分科会を開会。

1. 2022 年度入学生カーゴコースカリキュラムについて

栗原

・カーゴコース新カリキュラムについて

①カーゴハンドリング入門、グランドハンドリング入門

→エコパートナーズ様に依頼

②ロジスティクス入門

→ロジスティクス検定取得を目標とし、フォーディングとグランドハンドリング両方の知識習得。

③通関ビジネス検定対策

→2021 年 12 月から開始された通関ビジネス検定取得を目標とし、税関や外国貨物、関係省庁についての知識習得。

②、③の新カリキュラム導入により、これまでの貿易実務授業をなくした。

山田氏

・旅客業務も貨物業務も税関が関わるため、税関について学ぶカリキュラムは良いと思う。

2. 就職状況

松本

・2022 卒全学科の内定状況の報告

・コロナ禍においても航空保安業界は積極採用

・2021 年 8 月以降、航空貨物業界の採用活発化

3. その他

湊

・2021 年度で苦労したことについて

海外研修中止→国内ニセコ留学(任意)もしくは英語オンラインレッスンに変更

エアポートスタディ(課外授業)中止もしくはオンラインでの実施に変更

鈴木氏

・空港はまだ人がいない状況。チェックインカウンターに人がおらず機械化されている現状を見学で見ることで、空港の近い将来を感じ取ることが出来るのではと思う。

湊

・学生の会話力の無さについて

面接練習をすると、学生の会話力の無さを感じる。

鈴木氏

・ワクチン接種会場での対応では、気負いなく人と話せる添乗員のウケが良い。人と話す場慣れが必要。

山田氏

・場数を踏むことが必要。

・面接官をしていると、質問した内容に YES か NO でしか答えられない人がいる。色々な年代の方と会話をする機会を持つと良いのでは。

湊

・街頭インタビューのような機会を持つと良いのではと思う。実施できない課外授業を街頭インタビューの時間にすることを検討。

進行:湊が分科会を閉会した。

【分科会】テーマパーク科

進行:石神が分科会を開会。

1. 現状についての質問

伊藤氏

・前回 9 月にも話した通り、良い悪いの波があり我慢の 1 年だったが我慢ばかりでも仕方ない。蔓延防止が解除される見込みに伴い来場者数が増加傾向。
新アクティビティで新年度のスタート強化を図る。①消防士 ②ボートレーサー
新アクティビティに関しては、後援、協賛企業の意向が強く反映される。

2. 2023 年度卒業生対象の新卒求人状況の確認

伊藤氏

・2 年振りに人材確保強化に向け進行中。各日に働く人員も増やしている。
・エアライン科学生も今回の経験が、今後に良い経験として生きれば何より。

石神

・過去にアルバイトでお世話になった学生は話し方などが目に見えて成長した。
今年の新 1 年生向け研修、夏季実習等も引き続きお願いしたい。

3. その他

竹ノ谷

・当校とのコラボ企画(エアライン科 GS 体験ブース設置)に関して反響は。

伊藤氏

・プレスリリース直後の為、現段階では特に無し。情報があれば共有化をしていく。

石神

・保険・賃金など働く上での福利厚生知識や考え方を授業で取り入れる構想についての御意見

伊藤氏

・社会人でもキチンと理解しているのか? 不安なこともある。これから社会人になる為に大切なことなので学校で教える事は良いと思う。なぜそういう知識が今必要なのかという説明が重要。

竹ノ谷

・コロナ禍(マスク着用)のサービスに対する働き手、お客様の变化はあったか。

伊藤氏

・特に大きな変化なし。コロナ禍前からディスタンスに配慮する指導をしてきたので混乱なし。
(特に子供達との距離感様々な価値観の保護者等の目がある点を踏まえた指導)

竹ノ谷

・御社及びイオングループの SDG's の取り組みに関して

伊藤氏

・社独自というよりはイオングループとして一緒に取り組んでいる。

竹ノ谷

・例えば食べるに関しても料理を作る前には農家がいるというような、社会が繋がっていることを教えていくなども御社ならではの SDGS と思う。その中で銀行アトラクションは難しいイメージがありますが、どうでしょうか。

伊藤氏

・大変人気です。疑似通貨ですが、出入金や貯金、IC カード使用など大人と同じように子供達が体験できる点や、自分達の体験が貯金されるなど次への繋がりも大きい。

竹ノ谷

- ・今年4月1日から成年年齢18歳へ変更に関する注意などを当校で教育することを検討している。そうした社会変化に合わせたカリキュラム提供などは考えられているか。

伊藤氏

- ・小中学校の貸切イベントでは先生達からそうした社会勉強的要素の講演をセットしてほしいリクエストがある。過去には弁護士や銀行の仕事について企業の方に登場頂き講演などをした。想像以上に生徒たちの反応は良かった。但し仕事体験テーマパークなので出来る事の限界はある。アクティビティに関しては前述通りスポンサー様の意向が第一である。

進行:石神が分科会を閉会した。

【分科会】ホテル科・ブライダル科

進行:澤田より分科会を開会。

1. 2021年度カリキュラムの現状報告と2022年度カリキュラムについて

澤田:ホテル科

【授業科目】

- ・2022年度カリキュラムは2021年度同様予定
- ・2023年度より2コース編成になる。(ホテルコース/国際ホテルコース)

【研修旅行】

- ・2021年度実績

H1/H2 TDR ステイマナー(7月/1泊2日)

H1 リゾートホテル視察(11月/山梨長野方面2泊3日)

H2 海外研修→国内研修に変更(12月/沖縄2泊3日)

H1 TGG研修(12月/お台場)

海外生活を疑似体験。旅行カウンター窓口、スーパーマーケットなどを
利用する際のお客様体験ができる(英語対応)

→2022年度も新入生に対して実施予定

【検定】

- ・HRS検定 2021年度受験状況報告

例年と比べ合格率が低かった。理由として、ランチサービスの実技だったのが
今回朝食サービスだったことが要因。

【国際ホテルコースについて】

- ・2023年度より新たに新設する。定員10名の少人数制。
現在のホテルコースで行っているレベル分け英語クラス(3クラス)のAクラスを対象とする。
- ・英語を生かして仕事したい・外資系ホテル希望の学生が対象。
- ・英文履歴書対策講座(英語面接対策)、イングリッシュコミュニケーション(ネイティブ職員対応)、
おもてなしイングリッシュ(日本文化を英語で伝える)を新規科目として導入予定。
- ・企業実習は、夏季はホテルコース同様に実施、冬季は海外インターンを取り入れ検討中。
(コロナの状況もあり現状未定)

塚本:ブライダル科

【授業科目】

2022年度 新規導入科目

- ・「接客手話」2021年度に取り入れたユニバーサルマナーの授業+検定が、学生からも
前向きな意見が多かったため、2年次に手話を取り入れ、さらに知識を深める。
- ・「ブライダルマーケティング」ブライダル市場・手法・集客について学び、
インスタグラムなどのSNSを活用して研究する授業内容予定。

【研修/行事】

- ・2021年度実績

B1 成果発表(1月校内)

B2 海外研修→国内研修に変更(12月/山梨・軽井沢2泊3日)

コロナに対して不安な学生が多く、半数弱の参加

B2 卒業制作発表会(2月校内)

コロナの状況を鑑み保護者は招待せず、職員・講師のみの招待にて実施

【検定】

- ・ユニバーサルマナー検定 2 級(4 月)
 - ・BC 技能検定 3 級(1 月)
- 検定合格率は、例年に比べ上がっている。

栗原:夜間部ホテル科

- ・2021 年度 4 コース→2022 年度よりホテルコースのみの運営となる。
- ・2022 年度も前年同様、アルバイトでの実務経験と資格取得に力を入れていく。

【検定】

- ・2021 年度 ホテルビジネス実務検定試験(H 検)
ホテル実務技能認定試験
- ・韓国語、中国語、漢字検定も受験者数が多かった

【2023 年度について】

- ・夜間部ホテル科→夜間部ホテル・ブライダル科に変更
ホテルとブライダルの両方を学べるコースにしていく。
ホテル・ブライダル両方の検定を取得することができたり、ホテル or ブライダルそれぞれの
専門科目から選択できるようなカリキュラムを検討中。

2. 就職活動状況について

小園:就職

- ・2021 年度就職活動状況報告

- ・2023 年度の採用も年明けからスタートしている。
ホテル科 最終選考の学生数名
ブライダル科 4 名内定 (3/15 現在)

澤田:2023 年度にスタートする国際ホテルコース/夜間部ホテル・ブライダル科について
外資系ホテルで生かせる授業などご意見を賜りたい。

加藤氏:国際的な人間を育てるには、東京を知らないといけない。
生活・環境に慣れていない中で、勤務となると負担も大きい。
昼間部も夜間部のような両方学べる仕組みが良いのでは。

風間氏:夜間部のようなホテルとブライダルの両方を学べるのは賛成である。

塚本:今後、BC 技能検定 2 級を 2 年生で目指せるようなカリキュラムを検討しているが、
2 級は実技試験(ロールプレイング)もあり、どんな授業を取り入れたら良いか。

飛田氏:2 年生で 2 級を目指すことを考えている他校もある。

学科は、学生でも目指せると思うが、実技試験は、新規接客のロールプレイング
になるため、やはり実務経験を積まないと現状厳しい。
社会人になると学科を勉強する時間はなかなか取れないので、学生のうちに学科を取得
し、実技試験は 3 年間の猶予があるため現場での経験を積んでから実技を受けることが
好ましいのではないか。

小園:2022 年度企業実習の受け入れについて、現状をお伺いしたい。

風間氏:例年通り、一人でも多くの学生を受け入れて研修をしていただきたいと考えている。

進行澤田により閉会。